



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp**上智大学との連携講座「パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会」を開講！
～産学連携取り組み 2018年度以降、8年連続～**

2025年4月11日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、上智大学において、連携講座「パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会」を春学期（4月15日）より開講しますので、お知らせします。

1. 背景・概要

行動指針の一つに「地域密着」を掲げる当社は、学生教育を通じて社会・地域の課題解決に取り組んでいます。学校法人上智学院とは2018年9月に包括連携協定を締結し、傘下の上智大学において、当社の特色である障がい者スポーツの支援を通じた共生社会の実現に関する連携講座の開講や、多文化共生社会研究所の共同設置など、人材育成に資する産学連携を推進しています。

上智大学において開講する「パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会」は、参加した学生から「学問としての知識以上に社会に出てから役立つ内容であると感じた」「学術的な視点と社会における実態の両面から学ぶことができた」といった声が寄せられています。今年度は大阪体育大学スポーツ科学センター 菊地 真也氏をゲスト講師に招き、パラアスリートのトレーニングに関する授業を組み込むことで、障がい者スポーツへの理解をより深めることを目指します。

<昨年度の講義の様子>

**2. 講座内容**

(1) 講座名：パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会

科目名	パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会 (英文科目名) Adapted Sports and Inclusive Society: Para athletes' perspectives
開講期	2025年度春学期 (1+2クォーター/全学部共通) /2単位 / 定員170名
講義日	毎週火曜日 4限 (15:25~17:05) 全14回

担当教員	<ul style="list-style-type: none"> ・島 健（上智大学基盤教育センター身体知領域長） ・倉田 秀道（当社広報部推進役（特命部長）／上智大学客員教授）
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年は東京2025デフリンピック大会、2026年には第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会が愛知県・名古屋市他で開催されるなど、国際大会が国内で開催されるものの、その関心は決して高いものとは言えず、これらのパラスポーツ大会を迎える前に、パラスポーツを取り巻く現状と課題について学ぶ機会を提供します。 ・スポーツには「する」「みる」「ささえる」という3つの視点がありますが、本講座では特に「みる」「ささえる」という視点を中心に、さまざまな角度からパラスポーツと共生社会の関係性について考えることを試みます。 ・オリンピック・パラリンピック共通のテーマについては、その垣根を取り払い、授業計画に反映します。
ゲスト講師 （予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本パラスポーツ協会 常務理事 藤原 正樹 氏 ・大阪体育大学スポーツ科学センター 統括ディレクター補佐 菊地 真也 氏 ・当社福岡支店所属 デフサッカー日本代表 主将 松元 卓己（デフリンピック3大会出場） ・当社広報部所属 競泳元日本代表 青木 智美（リオ2016オリンピック出場）
担当教員 コメント （倉田）	本講義は、スポーツを取り巻く環境など大局を俯瞰しながらパラスポーツにフォーカスしています。競技的側面、学術的側面、オリパラ両面、スポーツマネジメント的側面、世界の潮流の側面など多面的なアプローチで学生の考える力を醸成していきます。

3. 授業計画（シラバス）

日程	授業テーマ	担当教員
第1回 4/15	ガイダンス（連携講座開講の趣旨／スポーツを取り巻く環境等）	島、倉田
第2回 4/22	パラリンピックの基礎知識（1）パラリンピックとは？ （ゲスト講師：公益財団法人日本パラスポーツ協会 常務理事 藤原 正樹氏）	倉田 ゲスト講師
第3回 4/29	パラリンピックの基礎知識（2）パラスポーツから共生社会を考える （ゲスト講師：公益財団法人日本パラスポーツ協会 常務理事 藤原 正樹氏）	倉田 ゲスト講師
第4回 5/13	アスリートの視点から考える（1）～パラスポーツ競技編～ （ゲスト講師：当社福岡支店所属 デフサッカー日本代表 主将 松元 卓己）	倉田 ゲスト講師
第5回 5/20	パラスポーツの視点から考える多様性・共生社会 ～日本で開催される国際大会を踏まえて～	倉田
第6回 5/27	アスリートの視点から考える（2）～パラアスリートの事例から～	倉田
第7回 6/3	オリンピック・パラリンピック融合の布石を考える	倉田
第8回 6/10	アスリートの視点から考える（3）～オリンピック競技編～ （ゲスト講師：当社広報部所属 競泳元日本代表 青木 智美）	倉田 ゲスト講師
第9回 6/17	スポーツを科学する視点から考える ～スポーツ科学とスポーツマネジメント～	倉田
第10回 6/24	医科学サポートの視点から考える（1） ～パラアスリートのトレーニング編～ （ゲスト講師：大阪体育大学スポーツ科学センター 菊地 真也 氏）	倉田 ゲスト講師
第11回 7/1	医科学サポートの視点から考える（2） ～パラアスリートのコンディショニングとその効果的活用～ （ゲスト講師：大阪体育大学スポーツ科学センター 菊地 真也 氏）	倉田 ゲスト講師

第12回 7/8	スポーツ×DE&I を考える ～国内の取り組みと世界の潮流～	倉田
第13回 7/15	中間レポート発表 「自分なりの提言」(個人発表)	島、倉田
第14回 7/22	まとめ・共生社会の構築に向けてできること	島、倉田

4. 今後の展望

当社は、今後もアスリートのスポーツ活動を応援するとともに、スポーツを通じた共生社会の実現を目指した支援・活動をすすめていきます。また、産学連携による学生教育、地域課題の解決に資する取り組みを通じて、CSV(社会との共通価値)の創造を推進していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

